

例会報告：2014年10月14日（晴れ）第1862回 通常例会

会場：小田原卸センター内会議室
日時：2014年10月14日 12:30～13:30

◆ 会長挨拶



齋藤 永 会長

皆さんこんにちは、2週連続の台風で皆様の所はいかがでしたか？被害があった方はおられますか？何もない方がいいのですが、地方では被害が出てるところもありますので、改めて自然災害の怖さを感じているところでもあります。

台風と共に、会員の土岐博也さんが逝ってしまいました。とても悲しいことです。ご自宅にお会いに行ってきたのですが、そのお顔はまるで眠るようでした。

惜しい人材を亡くした事はクラブにとって、マイナスです。土岐博也さんのご冥福をお祈りいたします。

また、会員の木村頼弘さんが、仕事上の事故で入院されたとご家族の方からご連絡がありました。詳しくは後ほど詳細がわかり次第ご連絡いたしますが、今は集中治療室に入っておりますので、お見舞いはご遠慮願いたいとの事です。ほんのちょっとした事で、いわゆる「まがさした」ということらしいです。皆様もお気をつけてください。

暗いニュースばかりではございません。当クラブの石崎孝さんを来年度の地区のガバナー補佐という大役の打診があり、本人に確認いたしましたところ、クラブの皆様のご協力の基でならという事で、理事会の理事の皆さんのご賛同も得られましたので、ここで皆様にご協力をお願いと共にご報告申し上げます。後ほど石崎さんには、ご挨拶賜りたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

本日は以上です。今日もよろしくお願いいたします。

◆ 幹事報告



大川 久弥 幹事

1)19日の地区大会ですが、参加される方は電車と一緒にいきましょう。ご案内を配布してありますが、小田原駅改札口前を9時50分集合でお願い致します。

2)先程、会長よりお話しがございましたが、石崎会員が次年度のガバナー補佐に選ばれたということで、次週例会に田

中ガバナーエレクトがご挨拶にお見えになりますので宜しくお願い致します。

3) 神奈川県ロータリアン親睦テニス会のご案内がきております。11月11日の開催ですが、詳細は後ろの掲示板に貼ってありますので、参加される方は今月31日が締め切りですので宜しくお願い致します。

4) ロータリーカード加入の依頼がきております。利用金額の0.5%がロータリー財団に寄付されますので、お協力をお願い致します。

◆ 出席報告

小川 和夫 委員長

出席報告	会員数	出席	M.U	出席率
10月14日	50(46)	37	1	84.78%
10月7日	51(48)	39	2	85.42%
9月30日	50(47)	44	0	93.62%

【欠席者】 8名

石内 正彦、上田 博和、須賀 俊和、杉本 博愛、木村 頼弘、内山 修一、守屋 善男、志澤 昌彦

【今回MU】 1名

杉本 博愛 (10/8 小田原城北RAC)

【前回MU】 2名増加

須藤 公司 (10/8 小田原城北RAC)

荻野 善明 (10/8 小田原城北RAC)

【前々回MU】 増加なし

◆ 2014年 RI2780地区 地区大会

開催日：2014年10月18日（土）／第1日

2014年10月19日（日）／第2日

場所：横須賀芸術劇場

メルキュールホテル横須賀



◆ 卓話

「日本のバーテンダーとバー文化」



一般社団法人日本バーテンダー協会理事
福田 真章 様

私の父は金物屋の息子で、母方の実家は宮大工でした。子供の頃は強羅で旅館をやっていた親戚の家で7年くらいお世話になり、今でも強羅には仲間がいて交流が続いています。父が48歳で他界し、私は実家の金物屋で3～4年溶接や建築関係など手伝って働いていました

が、22歳の時にサービス業がやりたくて家を出ました。お客様と接すること、接点を持つことが好きだったので。これからお話しする『バーと文化』も大切なのは接点。飲み屋にも色々あるでしょうが、私が求めているものは一つの場所にたくさんの業種の方が集まって論議談義をし、明日に向かってお酒で活気をつけていくことです。

私たちの組織・日本バーテンダー協会（NBA）を簡単に紹介させていただきます。NBAは5,000名弱の会員がいます。昭和4年（1929年）に発会し2009年には80周年を迎えました。この3～4年は世界大会で総合優勝もしています。バーテンダーは昔から下に見られがちな部分があります。前会長は「バーテンダーも調理師のように国家試験を立ち上げるべきだ」と運動していましたが、どうしても資格認定を下していただかず今も執行部が頑張っています。バーテンダーとお客様の関わりはメンタルな部分で重要です。戦後最初に立ち上がったのがお酒文化で、皆の活力の源となったのではないのでしょうか。しかし働く人間はバーテンと呼ばれチンピラ扱いられていたようです。



今、団体は大きく2つに分かれています。私たちは厚労省の管轄、ホテルのバーは国交省の管轄で、それぞれに組織があります。また、NBAから育った別団体としてはソムリエ協会、日本酒利き酒協会があります。元々バーテンダー協会は全てのお酒を扱うので色々なことを勉強吸収しますが、ワインのみ、日本酒のみを追求する方もいらっしゃいます。NBAはボランティア団体で、執行部としての仕事は希望する後輩たちにお酒に関する技術等々お教えることです。関東には24支部あり、私はそちらの仕事は卒業したので、これからは今日のように皆さんと直に接して少しでもバー文化を伝えていきたいと考えています。バーテンダーという言葉は、バー（カウンター）とテンダー（癒しの心）が組み合わさったもの。バーテンと略してはいけませんよね。次にご紹介するのはカクテルのコンペティションです。

毎年、湘南支部が主催し湯本富士屋ホテルでカクテルパーティーを開催しています。湘南支部は個人事業店がほとんどなので、広い場所にたくさんのお客様を集めて色々チャレンジしてみたい、との目的で始めました。バーは小さな世界で、一軒馴染みの店があっても隣の店は入ったことがないというお客様もいらっしゃいます。それは残念なことなので交流会を企画しました。もう20年になり、年々大きいパーティーになってきました。そこで楽しんでいただけたら地元のバーにも通っていただきたいと願っています。

私たちは水商売ですので緑と空気と水を守る活動もしています。チャリティーでお金を集め、木の1本でも植えられればと緑基金などに寄付しています。例えばソメイヨシノは60年くらいで寿命を迎えるので、皆に愛される桜の名所もどんどん古木老木になってしまいます。少しでも手伝いたく、いこいの森にヤマザクラを毎年植えさせてもらっています。来年も豪華なパーティーを開きますので是非一度見に来てください。

小田原には私の高校時代くらいまではバーがたくさんありましたが、カラオケができてからずいぶん減ってしまいました。私が店を出した時、銀行に融資を頼んだら『カラオケがないとダメ』と言われてしまいました。結果的には32年間店が続いていますので、カラオケがあるからこそ逆に私たちの店が存続できているのかなと思います。今ではカラオケボックスが出来て、普通の飲み屋がまた増えていくのではないのでしょうか。昔は、そのスナックに行くとき常連さんがいてママさんが美味しいものを出してくれる、そういう店がたくさんありました。顔なじみの店に皆が集って、そこから新しい店を開拓したりしたものです。小田原駅前を活性化するためには、商店街単位もちろん、バーやスナックなども増えて行かないといけません。皆さんの落ち着き場所が小田原駅前にも必要です。

最後はお酒について。私たちの子供時代は冷蔵庫も小さかったし氷はかち割り氷でした。炭酸水を作るのも大変な力仕事だったそうです。バーの人が苦労したのは、いかに美味しいお酒を適度な温度で提供するかでした。今はどれも簡単に作れるのですが、最適な氷と水は大切です。私たちは常に美味しくお酒を飲んでいただくための方法を追求して毎日頑張っていますので、ダンディーな雰囲気も含めてバーを楽しんでいただきたいと思います。ぜひ応援をお願いいたします。

